

1

中期的作成指標 マイルストーン管理

半期毎に、超えるべきハードルを設定
今の時期、何をすべきか、達成レベルはどこかを、常に意識する

標準進度

1年次前半

1年次後半

マイルストーン
ステージ

1

プレ序論クラス

研究テーマを決定する
序論の執筆を開始する

到達目標

- 論文作成の心構え、基礎情報の把握
- 先行文献の収集・読み込み
- 自身の問題意識の明確化

前半3回は講義形式で、修士論文執筆の心構え、文献検索法やその読み解き方、論文テーマ選定指針等を学びます。第4回以降はチームに分かれ、指導教員の下、先行文献の収集・読み込みを進めながら、自身の論文テーマを決定し、説得力のある序論執筆に向けての準備を行います。

2

序論・本論クラス

序論の完成・合格
本論部分の執筆開始

- 論文の対象と目的の確定
- 適切なリサーチクエスションの設定
- 論文構想(章・節)の具体化

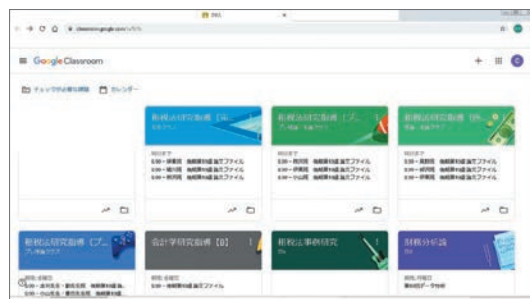
論文全体の設計図となる「序論」の作成に入ります。求められる要素(論文の対象・目的・問題提起・研究方法・論文構成・Wordの形式設定)を過不足なく満たし、修士論文として成立可能と判断できる序論を作成することが求められます。序論合格後は順次本論部執筆に入ります。

授業科目

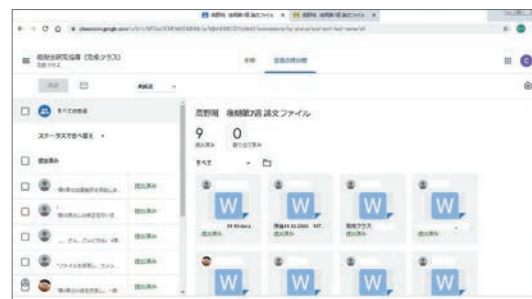
アカデミック・ライティング

研究指導のサイクル

1 毎週木曜日に論文草稿を
Google Classroom経由で提出



Google Classroomの提出窓口



チーム別草稿提出画面

2

コンスタントな取り組みを継続するための仕組み [指導→草稿提出→指導]のサイクル

Google Classroom 経由で指導チームに草稿を事前提出
毎週の進捗状況や次回ゼミでの相談事項も共有

2年次前半

2年次後半

3

プレ結論・本論クラス

結論部分の骨子の構築
本論部分の全体像の形成

- 結論部分の妥当性
- 首尾一貫した論文デザインの構築
- 論文本体部分ドラフト4万字超の完成

序論の完成を前提に、本論・結論部の執筆を進めます。本論部の執筆に精力的に取り組むとともに、指導教員が妥当と判断できる結論の構築に注力することが必要です。形式面では、この半期終了時点で、表紙から参考文献一覧まで一連の体裁の整備が完了していることを目指します。

序論合格

4

完成クラス

論文の完成
学内審査合格

- 論文全体における論理の一貫性・整合性
- 形式・内容の両面における基準のクリア

修士論文執筆の最終段階です。各自の研究内容を総括して、形式・内容の両面で基準を十分に満たし、最終審査に堪える水準の論文を完成させることを目指します。

学内最終審査

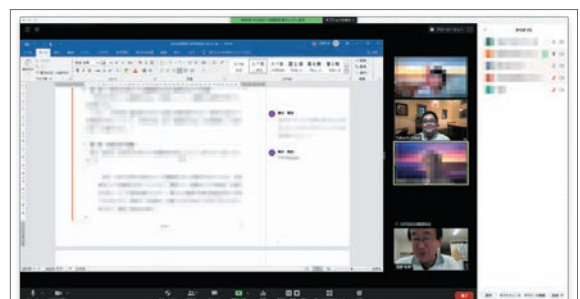
修士論文合格

2 教員が事前に確認／フィードバック



教員からのフィードバック

3 研究指導は土日に実施／オンラインによる対面指導



オンライン指導